



上野國碓氷郡原市町
碓氷社

碓氷社則

明治四十二年四月十日施行

取

4857



碓氷社則

第一章 總則

第一條 當社ハ社員カ製出スル生絲ノ改良ヲ圖リ品位一定ノ精絲ヲ製シ合同販賣スルヲ以テ目的ト爲ス

第二條 當社ハ碓氷社ト稱ス

第三條 當社ハ本社ヲ群馬縣碓氷郡原市町三百六十四番地ニ分工場ヲ高崎市八島町百十五番地ニ設置シ各地ニ組ヲ置ク

第四條 組ハ社員最寡適宜ニ集合シ某組ト稱シ製絲揚返シ場ヲ設置ス

前項ノ組ト稱スルハ甲乙社員三十名以上聯合シ一ケ年生絲一百貫匁以上製出スヘキ揚返シ場ヲ設置スルモノニ限ル但既設ノ分ハ此限ニ在ラス

機械製絲ニアリテハ七名以上聯合シテ二十五釜以上ノ設備ヲ有シ一ケ年生絲一百貫匁以上ヲ製出スルトキニ限り成規ノ手續ヲ經テ組ト稱スルコトヲ得

第五條 本社ハ各組ヲ統轄シ各組ハ本社ニ屬シテ其指揮ヲ受ケ所屬社員ノ製

絲事業ヲ監督シ其製出シタル生絲ヲ取纏メ本社ニ送ルノ義務アルモノトス

第六條 本社ト各組並ニ各組間ニ於テハ凡テ計算ヲ異ニシ損益互ニ共通セザルモノトス

第七條 本社及ヒ各組ノ存立時期ハ明治四十二年四月一日ヨリ明治五十二年三月三十一日迄滿十ク年トス

前項ノ期間滿了後社員ノ全部又ハ一部ニ於テ新ニ之ヲ繼續スルコトヲ得若シ一部ノ社員ニテ繼續シタルトキハ其離脫社員ハ當然離脫シタルモノト看做ス

第八條 存立時期最終ノ年度ニ於テハ社長ハ其年二月十日迄ニ常任委員會及商議員會ヲ招集シ繼續又ハ解散ヲ決議スルコトヲ要ス

常任委員會及商議員會ニ於テ繼續ニ決シタルトキハ社長ニ於テ繼續委員ヲ選任シ社則ノ修正案其他繼續後第一年ノ事業ニ對スル準備ヲ了シ本社總會ヲ招集スルコ

トヲ要ス若シ常任委員會及商議員會カ解散スル必要アリト認メタルトキハ社長ハ本社總會ヲ招集シ出席者四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ解散ヲ決議スルコトヲ得前項ノ場合ニ於テ解散ニ決シタルトキハ同時ニ清算人ヲ選任シ清算結了ノ上ハ清算人ニ於テ本社總會ヲ招集シ其承認ヲ得ルコトヲ要ス此場合ニ於ケル組ノ清算亦之ニ準ス

第二章 役員及選舉

第九條 本社ニ左ノ役員ヲ置ク

社長	一名
副社長	一名
取締役	七名
監査役	五名
以上之ヲ重役ト稱ス	

書 記

若干名

第十條 組ニ左ノ役員ヲ置ク

組 長

一名

副 組 長

一名

監 査 役

三名

以上之ヲ重役ト稱ス

書 記

若干名

第十一條 副組長以下ノ役員ハ製絲產出ノ多寡ニ應ジ組總會ニ於テ其人員ヲ增

減スルコトヲ得但減員ノ場合ニ於テ兼務セシムルコトアルモ監査役ハ事務ヲ兼ヌ

ルコトヲ得ス

第十二條 本社及ヒ組重役ノ選舉方法左ノ如シ

一 正副社長取締役ハ甲社員中ヨリ甲社員之ヲ選舉ス

二 本社監査役ハ定時總會ニ於テ甲社員中ヨリ本社總會總代人之ヲ選舉ス

三 本社役員ハ組役員ニ選舉セラルルコトヲ得ス

四 正副組長ハ所屬甲乙社員中ヨリ甲乙社員之ヲ選舉ス

五 組監査役ハ組總會ニ於テ所屬甲乙社員中ヨリ組總會總代人之ヲ選舉ス

第十三條 凡テ重役選舉ハ監査役ヲ除クノ外隔年三月一日ヨリ二十日迄ノ間ニ

於テ施行ス但其期日及ヒ場所ハ社長組長ニ於テ指定シ五日以前ニ選舉人ニ通知シ

發スルコトヲ要ス

第十四條 本社重役ノ選舉區域ハ組ヲ以テ一區域トス

第十五條 本社重役ノ選舉ハ各選舉區ニ於テ施行シ投票得点者ヲ定メ之ヲ社長

ニ報告スルコトヲ要ス

第十六條 社長ハ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ本社總會總代人中ヨリ立會人七

名ヲ指定シテ之カ當否ヲ審査シ其得票數ヲ合算シテ當選者ヲ定メ之ヲ本人ニ通知

シ就任書ヲ徵スルコトヲ要ス

六

第十七條 選舉用紙ハ一定ニ調製シ選舉會場ニ於テ組長之ヲ選舉人ニ交付ス

第十八條 選舉人ハ組長ヨリ交付シタル投票用紙ニ被選舉人ノ氏名ヲ記載シ差出スモノトス但投票ハ無記名トス

第十九條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ

二 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

三 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但官位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此限ニ在ラス

第二十條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トシ得票同數ナレハ年長者ヲ採リ同年齡ナレハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

當選人正當ノ事由ニ因リ其當選ヲ辭シタルトキハ成規ノ手續ニ依リ更ニ選舉ヲ爲

スコトヲ要ス

第二十一條 重役選舉ハ社長組長ニ於テ之ヲ管理シ其細則ハ別ニ之ヲ定ム

第二十二條 重役選舉ニ關シ社則其他社長組長ニ於テ指定シタル手續期日時限ニ違ヒタル事項ハ無効トス

第二十三條 各重役ノ任期ハ監査役ヲ除クノ外凡テ二年トシ監査役ハ之ヲ一ケ年トス但任期中ニ於ケル退任者ノ後任者ハ前任者ノ任期ニ止ム

前項何レモ滿期再選スルコトヲ妨ケス

第二十四條 重役ノ任期滿了後後任者未定ノ場合ニ於テハ後任者確定迄勸續スルコトヲ要ス

第二十五條 各重役止ムヲ得サル事由ニ因リ辭任シ又ハ職務喪失ノ場合ニハ更ニ補缺選舉ヲ爲スコトヲ要ス但任期三分ノ二ヲ過キ又ハ社長組長ニ於テ缺員ノ儘差支ナシト認ムルトキハ之ヲ行ハサルコトヲ得

七

第二十六條 本社書記ハ社長組ノ書記ハ組長ニ於テ之ヲ選任ス

第二十七條 本社及ヒ組重役ノ俸給旅費ハ各定時總會ニ於テ之ヲ定メ各書記ノ俸給旅費ハ社長組長ニ於テ之ヲ定ム

第三章 役員ノ職務權限

第二十八條 社長ハ當社全体ノ事務ヲ總理シ外部ニ對シ代表權ヲ有ス

第二十九條 副社長ハ社長ヲ輔佐シ社長事故アルトキハ其職務ヲ代理ス

第三十條 取締役ハ社長ト協力シテ社業ヲ擔任シ正副社長事故アルトキハ其職務ヲ代理ス

第三十一條 本社監査役ハ左ノ職務權限ヲ有ス

一 正副社長取締役ノ業務執行力社則其他總會ノ決議ニ適合セルヤ否ヤヲ監査スルコト

二 決算書財産目錄貸借對照表事業報告利息及ヒ繰代割渡額ヲ調査シ定時總會

ニ報告ヲ爲スコト

三 監査役間ニ於テ意見ヲ異ニスル事項ニ就テハ互ニ其意見ヲ總會ニ提出スル

コト

四 本社ノ利害ニ關シ必要ト認ムルトキハ臨時總會招集ヲ請求スルコト

第三十二條 組長ハ社長ノ指揮監督ヲ受ケ組全体ノ事務ヲ總理ス

第三十三條 副組長ハ組長ヲ輔佐シ組長事故アルトキハ其職務ヲ代理ス

第三十四條 新監査役ハ組ニ屬シ本社監査役ト同一ノ職務權限ヲ有ス

第三十五條 本社ノ書記ハ社長組ノ書記ハ組長ノ指揮ニ從ヒ各其事務ヲ擔任ス

第三十六條 本社共有財産ノ名義主ヲ社長ニ委任シ組共有財産ノ名義主ヲ組長ニ

委任ス前項ノ名義ハ何レモ其任期中ニ限リ更任毎ニ更ニ名義ヲ書替フルモノトス
名義主ト本社並ニ各組間ニ於テハ互ニ契約書ヲ交付スルコトヲ要ス

第三十七條 製絲ノ販賣權ハ社長ニ專屬ス但價格ノ劇變ニ因リ特別ノ處分ヲ要ス

ルカ又ハ海外直輸出等ヲ爲ス場合ニ於テハ商議員會ノ議ニ附シ之ヲ執行スルコトヲ要ス

第二十八條 社長ハ左ノ條項ニ據リ管理規程ヲ設ケ本社重役及ヒ組長會ノ議ヲ經テ之ヲ執行スルコトヲ要ス

- 一 製絲ヲ鑑別シ等級ヲ定ムルノ件
- 二 製絲等級ノ差ヲ設ケ精算絲量ヲ定ムルノ件
- 三 生絲ノ粗製濫造ヲ防止シ優技ヲ獎勵スル爲メ賞罰方法ヲ設ケルノ件
- 四 製絲デニールノ程度ヲ以テ等級ヲ定ムルノ件
- 五 生絲製出ノ方法ヲ定ムルノ件
- 六 製絲ノ量目制限法ヲ定ムルノ件
- 七 製絲切數檢査方法ヲ定ムルノ件
- 八 製絲荷造及ヒ商標改廢新設ノ件

九 各組塲場管理方法及ヒ職員賞罰方法ヲ設ケルノ件

十 本社及ヒ組ノ印章ヲ定ムルノ件

十一 以上各項ノ外社業經營上必要ノ件

前項管理規程中緊急變更ヲ要スル事項アルトキハ社長ハ本社重役及ヒ商議員會ノ議ニ附シ加除修正ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 社長ハ社則ニ明定セサル事項ト雖社業經營上必要ト認ムル場合ニ於テハ其趣旨ニ背カサル限り隨時ニ之ヲ執行スルコトヲ得

第四章 社員及其權利義務

第四十條 當社ニ出絲スル凡テノ組員ヲ社員ト稱ス但社員ハ一戸一名ニ限ル

第四十一條 社員ヲ分テテ左ノ三種トス

- | | |
|------|-----------------|
| 甲 社員 | 本社及ヒ組ノ基本金ヲ出シタル者 |
| 乙 社員 | 組限リノ基本金ヲ出シタル者 |

丙 社 員

基本金ヲ出サス單ニ製絲ノミヲ出ス者

乙社員タル者ニ非サレハ甲社員タルコトヲ得ス

第四十二條 甲社員ハ本社重役及ヒ本社總會總代人ノ選被選權ヲ有シ本社保持ノ義務ヲ負フ其他所屬組ニ對シテハ凡テ乙社員ト同一ノ權利義務ヲ有シ組長ノ支配ニ屬ス

乙社員ハ組重役及ヒ組總會總代人ノ選被選權ヲ有シ所屬組ヲ保持スルノ義務ヲ負フ

丙社員ハ前二項ノ選被選權ヲ有セス單ニ生絲製出ノ義務アルモノトス

第四十三條 社員ハ製絲ヲ自ラ販賣シ又ハ他ノ組若クハ會社ニ出荷スルコトヲ得ス但粗製品ハ此限ニ在ラス

第四十四條 社員ハ當社ト同一種類ノ組合若クハ會社ニ加名スルコトヲ得ス

第四十五條 前二條ノ規程ニ違反シテ當社ニ損害ヲ被ラシメタル者ハ賠償ノ責ニ

任スヘキモノトス

第五章 總 會

第四十六條 總會ハ之ヲ分チテ定時總會臨時總會ノ二種トス

第四十七條 總會ハ其定時タルト臨時タルトヲ問ハス本社總會組總會ノ二種トス

第四十八條 本社總會ハ本社總會總代人ヲ以テ組織シ組總會ハ組總會總代人ヲ以

テ組織ス

第四十九條 本社總會總代人ハ各組ニ於テ一名宛所屬甲社員中ヨリ甲社員之ヲ選

擧ス但甲社員七名未滿ノ組ニ於テハ總代人ヲ選出スルコトヲ得ス

本社ヨリ俸給ヲ受タル者ハ本社總會總代人タルコトヲ得ス但監查役ハ此限ニ在ラ

第五十條 組總會總代人ハ二十名以下トシ所屬甲乙社員中ヨリ甲乙社員之ヲ選

擧ス

組ヨリ俸給ヲ受クル者ハ組總會總代人タルコトヲ得ス但監査役ハ此限ニアラス

第五十一條 當選人正當ノ事由ニ因リ總代人ノ當選ヲ辭シタルトキハ次点者ヲ以テ當選人トス

第五十二條 本社總會總代人ノ選舉區域ハ組ヲ一區域トシ組總會總代人ノ選舉區域ハ組内ヲ適宜ニ區分シテ其一部ヲ一區域トス

第五十三條 本社定時總會ハ毎年四月社長之ヲ招集シ組定時總會ハ毎年本社定時總會後一ヶ月以内ニ組長之ヲ招集ス

第五十四條 本社臨時總會ハ社長ニ於テ必要ト認メタルトキ或ハ本社監査役本社總會總代人二十名以上又ハ甲社員三分ノ一以上ノ請求アリタルトキ社長之ヲ招集シ組臨時總會ハ組長ニ於テ必要ト認メタルトキ或ハ組監査役、組總會總代人三分ノ一以上又ハ甲乙社員三分ノ一以上ノ請求アリタルトキ組長之ヲ招集ス

第五十五條 本社定時總會ニ於テハ左ノ事項ヲ決議ス

一 前年度ノ事業及ヒ社費決算報告三月末日現在財産目錄貸借對照表ニ就キテ承認ヲ與フルコト

二 社費豫算案

三 監査役及ヒ常任委員ノ選舉

四 其他社業經營ニ關スル必要事項

組定時總會ニ於テハ前項中第一第二第四ノ各事項ヲ決議シ併セラ監査役ノ選舉ヲ爲ス

第五十六條 各總代人ニ於テ議案ヲ總會ニ提出セントスルトキハ其要領ヲ明記シ社長又ハ組長ニ差出スコトヲ要ス若シ社長組長ニ於テ議案ヲ不完全ト認ムルトキハ提出者ノ意見ヲ聞キ審査更正スルコトヲ得

第五十七條 定時總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ一週間前ニ各總代人ニ對シ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

前項ノ通知ニハ總會ノ目的及ヒ總會ニ於テ決議スベキ事項ヲ記載スルコトヲ要ス
前二項ノ規定ハ臨時總會召集ニ之ヲ適用セス

第五十八條 本社總會ノ會長ハ社長組總會ノ會長ハ組長ヲ以テシ社長組長事故アルトキハ副社長副組長之ヲ代理ス若シ副社長副組長ニ於テ事故アルトキハ出席者中ヨリ之ヲ互選ス

第五十九條 總會ハ少クトモ總代人ノ半數以上出席スルコトヲ要ス

前項ニ定メタル員數カ出席セサルトキハ假決議ヲ爲シ同時ニ缺席者ニ對シ假決議ノ趣旨ノ通知ヲ發シ更ニ二週間以内ニ第二回ノ召集ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ出席者ノ多少ニ拘ハラズ會議ヲ開キ決議ヲ爲スコトヲ得

第六十條 總會ノ決議ハ出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス可否同數ナルトキハ會長之ヲ決ス

第六十一條 總會ノ決議ハ決議録ニ記載シ會長及ヒ出席者三名以上署名捺印スル

コトヲ要ス

第六十二條 各總代人ノ任期ハ二ケ年トス但滿期再選スルヲ妨ケス

各總代人任期滿了後ト雖次年度總會成立迄ハ其任務ヲ繼續スルコトヲ要ス

各總代人ノ選舉ハ第十三條ヲ準用シ之ヲ行フ

第六十三條 各總代人辭任又ハ職務喪失ノ場合ニ於テハ補缺選舉ヲ行フコトヲ要ス但總會開設ニ際シ選舉ヲ爲シ能ハサルカ若クハ正當ノ事由ニ依リ之ヲ行フコト能ハサル場合ニ於テハ缺員ノ俸總會ニ關キ有效ニ決議スルコトヲ得

第六十四條 本社總會總代人ノ日當ハ出席日數ニ應シテ本社ヨリ之ヲ支給シ旅費ハ組ヨリ之ヲ支給ス

第六十五條 第十七條第十八條第十九條第二十條第二十一條第二十二條ノ規定ハ各總代人選舉ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六章 常任委員會

第六十六條 常任委員會ハ常任委員ヲ以テ組織シ社長ニ於テ必要ト認ムルトキ之ヲ招集ス

第六十七條 常任委員ハ本社定時總會ニ於テ本社總會總代人中ヨリ之ヲ互選ス但會長ハ出席者ノ半數以上ノ同意ヲ得テ指名推選スルコトヲ得

第六十八條 常任委員ノ定員ハ之ヲ三十名トシ別ニ補缺員五名ヲ置ク

第六十九條 常任委員會ニ於テハ左ノ事項ヲ決議ス

- 一 社費豫算各項ノ費目流用ニ就キ決議ヲ爲スコト
- 二 社費豫算費目外金壹千圓以内ノ支出ヲ要スル場合ニ決議ヲ爲スコト
- 三 社費豫算ヲ超過シテ支出ヲ要スル場合ニ於テ各費目豫算額十分ノ三以内ノ決議ヲ爲スコト
- 四 定時總會後新ニ組ヲ設置シ及ヒ組分合ノ請求アリタルトキ許否ヲ決スルコト

五 第一百十八條ノ規定ニ該當シタル社員ニ對シ處分行爲ヲ爲スコト

六 其他社業ニ關シ緊急處理ヲ要スル事項ニ就キ本社總會ニ代リ決議ヲ爲スコト

第七十條 常任委員會ノ決議事項ハ社長ニ於テ次ノ總會ニ報告スルコトヲ要ス

第七十一條 常任委員ノ任期ハ之ヲ一ケ年トス但續期再選スルコト妨グス

第六十條第二項ノ規定ハ常任委員ニ之ヲ準用ス

第七十二條 常任委員 日當旅費ハ出席日數ニ應シテ本社ヨリ之ヲ支給ス

第七十三條 第五十八條第五十九條第一項第六十條第六十一條ノ規定ハ常任委員

會ニ之ヲ準用ス

第七章 組 長 會

第七十四條 組長會ハ各組長ヲ以テ組織シ社長ニ於テ必要ト認ムルトキ之ヲ招集ス

前項ノ場合ニ於テ若シ組長事故アルトキハ副組長又ハ書記ヲシテ代理出席セシムルコトヲ得

第七十五條 組長會ニ於テハ左ノ事項ニ就キ決議ヲ爲ス

一 社則ニ定ムル事項ニ就キ決議ヲ爲スコト

二 管理規程實施ノ場合ニ之カ決議ヲ爲シ其他必要アルトキハ加除修正ノ決議ヲ爲スコト

三 毎年一回商議員ノ選舉ヲ爲スコト

四 其他社業統一ニ關シ必要ナル事項ヲ決議スルコト

第七十六條 組長會ノ會長ハ社長ヲ以テシ社長事故アルトキハ副社長ヲ以テス若シ正副社長事故アルトキハ取締役之ニ當ル

第七十七條 組長會出席者ノ日當旅費ハ組之ヲ支給ス

第七十八條 第五十九條第一項第六十條第六十一條ノ規定ハ組長會ニ之ヲ準用ス

第八章 商 議 員 會

第七十九條 商議員會ハ商議員ヲ以テ組織シ社長ニ於テ必要ト認ムルトキ之ヲ召集ス

第八十條 商議員ハ組長會ニ於テ組長中ヨリ互選ス但會長ハ出席者ノ半數以上ノ同意ヲ得テ指名推選スルコトヲ得

第八十一條 商議員ノ定員ハ之ヲ三十名トシ別ニ補缺員五名ヲ置ク

第八十二條 商議員會ニ於テハ左ノ事項ニ就キ決議ヲ爲ス

一 各組長ヲ代表シテ社長ノ諮問ニ答フルコト

二 社業經營ニ關シ緊急處理ヲ要スル事項ニ就キ各組長ニ代リ決議ヲ爲スコト

三 管理規程ノ加除修正ヲ要スル場合ニ之カ決議ヲ爲スコト

四 其他社業ノ利害ニ關シ意見ヲ陳述スルコト

第八十三條 商議員ノ任期ハ之ヲ一ヶ年トス但滿期再選スルヲ妨ケス

第六十二條第二項ノ規定ニ商議員ニ之ヲ準用ス

第八十四條 商議員ノ日當旅費ハ出席日數ニ應シテ本社ヨリ之ヲ支給ス

第八十五條 第五十九條第一項第六十條第六十一條第七十六條ノ規定ハ商議員會ニ之ヲ準用ス

第九章 基本金及豫備積立金

第八十六條 基本金ヲ分チテ左ノ二種トス

一 本社基本金 甲社員ノ出資シタルモノニシテ本社ノ管理ニ屬ス

二 組基本金 所屬甲乙社員ノ出資シタルモノニシテ組ノ管理ニ屬ス

第八十七條 本社基本金ハ別ニ其限度ヲ定メス別表出資方法ニ據リ各組甲社員ニ出資セシムルモノトス

第八十八條 本社基本金ハ一口ヲ金拾圓トシ其出資額ハ一名ニ付五口以下トス
乙社員タル者コ非サレハ本社ニ基本金ヲ出スコトヲ得ス

組基本金ハ組總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第八十九條 各基本金ニ對シテハ左ノ割合方法ニ據リ利子ヲ支拂フモノトス

一 本社基本金ニ對スル利子ハ年一割二分トス

二 組基本金ニ對スル利子ハ組總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

三 新ニ入社シタル社員ノ基本金ニ對スル利子ハ出資ノ翌月ヨリ月割ヲ以テ支拂フモノトス

第九十條 社員ハ當社存立期間中ハ基本金ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ス

第九十一條 天災其他非常ノ損害ニ備フルカ爲メ本社及ヒ組ニ於テハ左ノ收入金ニ依リ豫備積立金ヲ爲スコトヲ要ス

一 本社ニアリテハ雜收入金

二 組ニアリテハ第九十三條ヨリ生スル收入金及ヒ其他ノ雜收入金

第九十二條 前條ノ豫備積立金ハ各總會又ハ常任委員會ノ議ヲ經テ左ノ費目ニ支

出スルコトヲ得

- 一 損害ノ填補
- 二 新工事費
- 三 功勞者表彰費並ニ賞與金
- 四 本社ハ其年豫備積立金ノ二分ノ一以内ノ範圍ニ於テ乙費ヘ補助
- 五 本社ハ社業保持又ハ事業獎勵上特ニ必要ヲ生シタル臨時諸費用

第九十三條 組ニ於テハ毎年製絲賣上金高百分ノ一ヲ徵收シ基本金ノ利子及ヒ豫備積立金ニ充ツルモノトス但組總會ノ決議ニ依リ徵收額ヲ増減スルコトヲ得

第九十四條 本社又ハ組ハ存立期間満了ニ至リ豫備積立金ニ殘餘アリタルトキハ基本金出資高ニ應シ之ヲ分配ス但十ケ年ヲ通計シタル出資高ニ據ル

第十章 社費及組費

第九十五條 費用ヲ分テテ社費組費ノ二種トシ社費ハ本章ノ規定ニ從ヒ社員全体

ロリ之ヲ徵收シ組費ハ組限リノ負擔ニシテ所屬社員ヨリ之ヲ徵收ス

第九十六條 社費組費ヲ類別シテ甲費乙費トシ甲費ハ創業費建築費器械器具費等

固定資本ニ屬スルモノトシ乙費ハ毎年ノ通常經費トス

第九十七條 甲費ハ基本金若クハ豫備積立金ヲ以テ之ニ充テ乙費ハ毎年ノ製絲受付量日ニ應シテ徵收ス但春期ノ製絲ハ前年度徵收額ニ據ル

以上ノ乙費ノ收入ニ至ル迄ハ基本金ヲ以テ繰替支拂フコトヲ得

第九十八條 甲費乙費何レモ定時總會ニ於テ定メタル豫算ニ據リ徵收シ甲費ハ決算ニ際シ殘餘金アリタルトキハ豫備積立金ニ編入シ乙費ハ翌年度ノ經費ヘ繰越シ存立期間満了ニ至リ殘餘金アリタルトキハ豫備積立金ニ編入ス

社長及ヒ組長ハ豫算ニ對シ實費支出減少スヘシト思料シタルトキハ豫算額ヲ輕減シテ徵收スルコトヲ得

第九十九條 乙費ハ左ノ割合ヲ超エ徵收スルコトヲ得ス

一 本社ハ受付絲量一貫匁ニ付金七拾錢
 二 組ハ受付絲量一貫匁ニ付金壹圓八拾錢
 前項ノ制限内ニ於テ支辨シ能ハサルトキハ社長又ハ組長ハ總會ヲ招集シ其決議ヲ經テ制限外ニ徵收スルコトヲ得

第百條 本社及ヒ組ハ凡テ左ノ費目ニ據ルコトヲ要ス但此費目ニテ差支アルトキハ本社ハ常任委員會組ハ組總會ノ議ニ附シ之ヲ設ケルコトヲ得

甲 費目

創業費 諸建築費 器械費
 器具費 備品費 雜費

乙 費目

俸給 旅費 絲整費
 運搬費 通信費 消耗費

諸稅 賞與金 交際費
 會議費 修繕費 雜費
 豫備金

第百一條 社費及組費ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄滿一ケ年ヲ一事業年度トシテ決算ス

第十一章 事業執行

第百二條 製絲事業年度ハ毎年一月ニ始リ十二月ニ終ル

第百三條 社員ノ製出スル生絲ハ座繰機械ノ二種トシ本社ニ於テ各別ニ検査ヲ施シテ品等毎ニ合同シ當社ノ商標ヲ附シテ販賣スルモノトス但劣等品ニハ商標ヲ附セス

社長ハ時宜ニ依リ商議員ノ意見ヲ聞キ計算ヲ異ニシ座繰機械ノ二種ヲ合同販賣スルコトヲ得

第四百四條 社員ハ不可抗力ニ因ル場合ノ外毎年生絲一貫匁以上ヲ製出スヘキモ
ノトス若シ一貫匁未滿ノトキハ第八十九條ニ規定スル利子ノ支拂ヲ爲サス

第二百五條 製絲賣上金ハ第九章第十條中ニ定ムル豫備積立金及ヒ諸入費ヲ控除
シ受付生絲ノ量目等級ニ應シテ分配スルモノトス

第二百六條 前條賣上金ノ配付ハ製絲事業一ケ年間ヲ左ノ四回ニ分テ受入レタル
生絲ノ量目等級ニ應シ各別ニ決算ス

春 期 一月ヨリ四月二十日迄 四月廿一日ヨリ 休業
六月十五日迄

第一回 六月十六日ヨリ八月三十一日迄

第二回 九月一日ヨリ十月三十一日迄

第三回 十一月一日ヨリ十二月三十一日迄

春期ノ製絲ハ社長ニ於テ商議員會ノ議ヲ經テ該期間ヲ數度ニ區分シ又ハ期日ヲ短
縮シ若シクハ休止スルコトヲ得

第四百七條 清算期ハ毎年一月ヨリ三月迄トス若シ三月ニ至リ未賣製絲アルトキ
ハ其時價ヲ見積リ假清算ヲ爲スコトヲ要ス但春期製絲ノ清算ハ社長ノ定ムル所ニ
據ル

第四百八條 社員中其製出ニ係ル生絲ニ對シ前借ヲ乞フ者アリタルトキハ組長ハ
本社ヨリ爲替金ヲ借入又ハ他ヨリ借入金ヲ爲シ内渡金ヲ爲スコトヲ得

社長ハ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ製絲賣上金中ヨリ又ハ借入金ヲ爲シ爲替金ヲ
貸付クルコトヲ得但内渡スヘキ爲替金ノ最高限度ハ商議員會ノ議ヲ經テ之ヲ定ム

第四百九條 毎年度ニ於ケル利率ハ本社ハ社長ニ於テ商議員會ノ議ヲ經テ之ヲ定
メ組ハ其年度ニ於ケル収支決算額ニ據リ之ヲ定ム

第十二章 社員及組ノ加入脱退

第一百十條 當社ノ社則及ヒ管理規程ヲ遵守シ社員トナリ製絲ヲ爲サントスル者
ハ毎年四月組長ヲ經テ申込書ヲ社長ニ差出スコトヲ要ス

前項ノ申込アリタルトキハ社長ハ所屬組長ノ意見ヲ聞キ許否ヲ決ス

第四條第二項第三項ノ條件ヲ具備セル團體ニ於テ組ヲ組織シ加入セシムルトキハ代表者五名以上ノ連署ヲ以テ申込書ヲ社長ニ提出スコトヲ要ス此場合ニ於テハ社長ハ總會又ハ常任委員會ノ議ニ附シ許否ヲ決ス

第百十一條 社員又ハ組ハ存立期間中ハ脱退スルコトヲ得ス但事情止ムヲ得サルモノニ限リ社長ハ社員脱退ノ場合ハ所屬組長組脱退ノ場合ハ總會又ハ常任委員會ノ議ニ附シ之ヲ許スコトヲ得

第百十二條 社員死亡シ又ハ隱居シタルトキハ其相續人ハ社長及ヒ組長ノ承認ヲ經テ其權利義務ヲ承繼シ社員トナルコトヲ得但其相續人タルコトハ親戚二名以上又ハ該組甲社員三名以上ノ証明ヲ要ス

第十三章 損害 填補

第百十三條 本社又ハ組ノ共有財産其他毀出ノ生絲等天災又ハ盜難紛失等ニ因リ

損害ヲ生シタルトキハ本章ニ定ムル區別ニ從ヒ填補スルモノトス

第百十四條 損害填補ヲ分テテ左ノ三種トス

- 一 本社ノ財産ニ係ル損害ハ甲社員ニ於テ基本金出資額ニ應シ之ヲ填補シ組ノ財産ニ係ル損害ハ所屬甲乙社員ニ於テ組基本金出資額ニ應シ之ヲ填補ス
 - 二 本社前ニ組何レモ甲費ニ係ル損害ハ甲費負擔者ニ於テ之ヲ填補シ乙費ニ係ル損害ハ社員ノ出絲量目若クハ代價ニ應シ之ヲ填補ス
 - 三 生絲及ヒ絲代金本社ノ管理ニ屬シタルトキ生シタル損害ハ社員カ本社ニ出シタル生絲ノ時價又ハ賣上金高ニ應シ之ヲ填補シ組ノ管理ニ屬シタルトキ生シタル損害ハ所屬社員カ組ニ出シタル生絲ノ時價又ハ賣上金高ニ應シ之ヲ填補ス
- 前項ノ損害ハ其年ニ於ケル製絲賣上金ヲ以テ之ヲ填補ス但シ春期製絲ノ損害ハ春期製絲賣上金ヲ以テ之ヲ填補ス

第百十五條 前條ノ損害填補ハ各總會又ハ常任委員會ノ議ニ附シ社長組長ニ於テ

之ヲ行フ

第百十六條 役員ハ其權限内ニ於テ正當ニ執行シタル事件ヨリ生シタル損害ニ就キ賠償ノ責ニ任セス但其損害カ役員ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ生シタルトキハ本社又ハ組ニ對シ賠償ノ責ニ任ス

第十四章 賞 罰

第百十七條 役員其他使用人ニ於テ業務執行上功勞アル者ニ對シテハ各總會又ハ常任委員會ノ議ヲ經テ其功績ヲ表彰シ或ハ賞與ヲ爲スモノトス

第百十八條 社長組長ハ各總會又ハ常任委員會ノ議ヲ經テ左ノ事項ノ一ニ該當セル社員ヲ除名シ且之ニ對シ損害賠償ヲ求ムルコトヲ得

- 一 社則又ハ管理規程ニ違反シタルトキ
- 二 本社又ハ組ニ對シ詐欺行爲ヲ爲シタルトキ
- 三 其他當社ノ体面ヲ汚ス行爲ヲ爲シタルトキ

附 則

第百十九條 多年本社重要ノ職務ニ服シ功績顯著ナル者ヲ相談役ニ推薦スルコトヲ得

第百二十條 相談役ハ本社總會ニ於テ推薦シ任期ヲ一ケ年トス但滿期後更ニ推薦スルコトヲ得

第百二十一條 相談役ハ社業重要事項ノ協議ニ對シ意見ヲ陳述シ其他囑託アルトキハ事務ヲ輔佐ス

第百二十二條 相談役ニハ報酬ヲ支給ス其額ハ本社總會ニ於テ之ヲ決議ス

第百二十三條 第百十九條乃至第百二十二條ノ規定ハ組ニモ之ヲ準用ス

第百二十四條 社則ハ定時總會又ハ臨時總會ニ於テ出席者四分ノ三以上ノ同意ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ改正スルコトヲ得ス

第百二十五條 當社則ハ明治四十二年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

第二百六條 明治三十七年三月二十六日協定ノ社則ハ當社則施行ト同時ニ其效力ヲ失フ

右之條々契約候也

明治四十二年四月 日

群馬縣碓氷郡原市町

碓氷

社

群馬県立図書館



0499357-2

小野寺文庫